

果樹カメムシ類の防除を徹底しましょう!

令和8年4月
栃木県農政部経営技術課

主要なカメムシ類



チャバネアオカメムシ
果樹園に飛来して
果実を吸汁加害

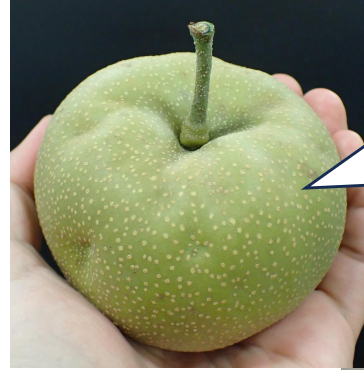


クサギカメムシ



ツヤアオカメムシ

被害の様子



吸汁された
果実は奇形果
となる

果肉内部は
スポンジ状と
なり、品質が
著しく低下



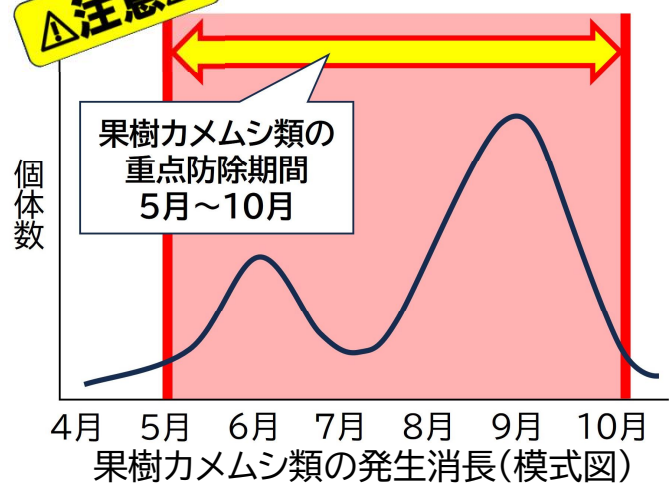
令和8年の発生予想

果樹カメムシ類の越冬量が昨年より多いため、果樹園への春以降の発生・飛来量は昨年より多くなると予想されており、被害発生に注意が必要です。

具体的な防除対策

- 5月上旬頃から果樹園への飛来がみられるため注意しましょう。
- 発生予察の情報収集と、ほ場内(特に周縁部)の観察をこまめに行い、**必ず飛来を確認してから**薬剤防除を実施しましょう(過剰防除にならないように注意!)
- 多目的防災網の設置園では、開花期終了後直ちに展張し、隙間なく覆ってカメムシ類の侵入を防ぎましょう。

△注意△



多目的防災網